



CHRONOFIGHTER

VINTAGE PULSOMETER

CALIBRE G1718

MOVEMENT – TECHNICAL DATA

Cal. G1718

自動巻

クロノグラフ

毎時 28'800 振動

インカブロック耐震装置搭載

石数 : 25

パワーリザーブ : 48 時間

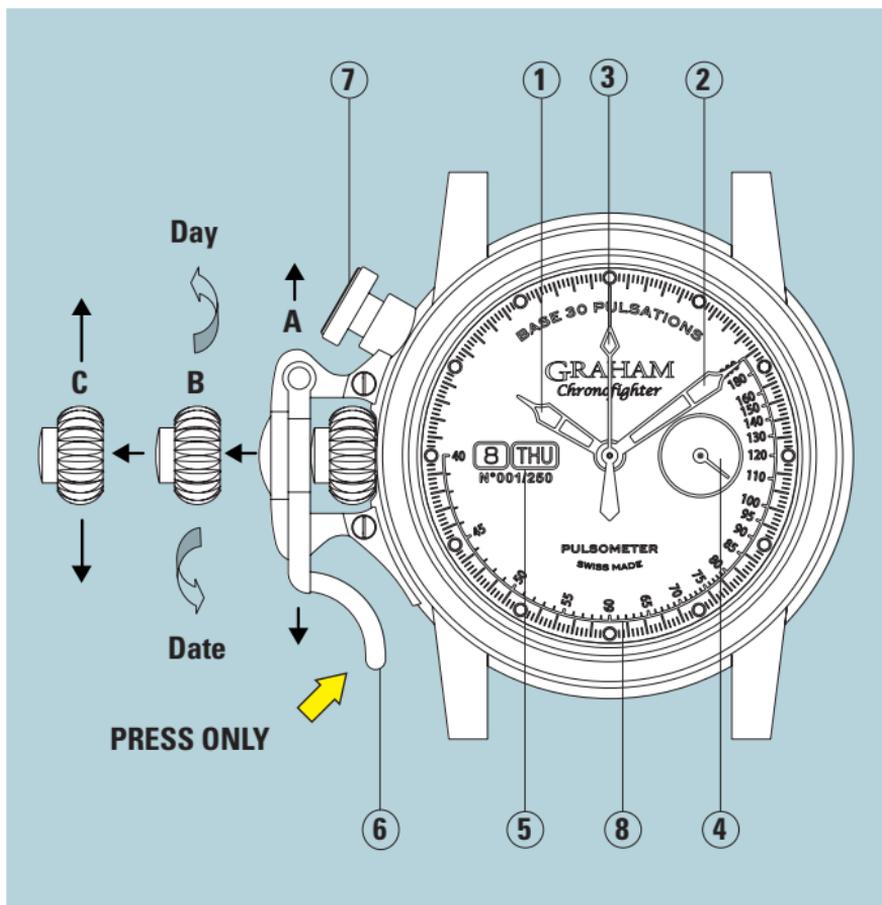
WATCH FUNCTIONS

時、分、秒表示

クロノグラフ (30分計)

日時表示 (モデル毎に異なる)

防水性: 100 m (10 気圧相当)



INFORMATION SHOWN ON THE ILLUSTRATION

1. 時針
2. 分針
3. クロノグラフ秒針
4. 秒針
5. 日付もしくは曜日表示
6. クロノグラフレバー(スタート/ストップ)
7. リセットコントローラー
8. 脈拍計

BASIC OPERATING INSTRUCTIONS

Positions of the crown :

- A. 手巻 : ご使用の際は、ポジションAの位置に合わせます。
- B. 日付・曜日の調整
- C. 時刻合わせ : Cの位置にセットされている場合、秒針は止まった状態になります。

Warning : 時針が午後8時～午前2時頃を指している間は、日付の設定を行わないでください。故障の原因になりますのでご注意ください。

Winding the watch (position A) :

コイルばねを完全に巻き上げるため、リューズをポジションAに合わせ、時計の6時方向(手前側)に向かって20回ほど巻きます。この作業により、時計をご使用の間は、自動的にコイルばねが巻かれるようになります。

Setting the day (position B) :

リューズをポジションBに合わせます。表示を確認しながらリューズを半時計回りに回して曜日を合わせます。

Setting the date (position B) :

リューズをポジションBに合わせます。表示を確認しながらリューズを時計回りに回して日時を合わせます。

Setting the time (position C) :

リューズをポジションCに合わせます。

時計まわり、もしくは半時計回りに回し時刻をセットします。時刻を、時報や親時計と合わせる際は、秒針が12時の位置に到達するまで待ち、到達したら、ポジションCにリューズを引き出し、秒針を止めます。

分針が合わせたい時刻になるよう、リューズを回して設定します。

時刻合わせの操作を終えたら、リューズをもとのポジションに戻します。設定した時刻から、再び時計が動き始めます。

Note: 時刻合わせの操作が完了したら、リューズを元のポジションAに戻したことを確認してください。

CHRONOGRAPH OPERATING INSTRUCTIONS

Start

クロノグラフレバー(6)を押して、クロノグラフ秒針(3)とクロノグラフ30分針をスタートさせます。

Stop

クロノグラフレバー(6)を再度押して、クロノグラフを止めます。

Reset

クロノグラフレバー(6)を止めた後、リセットコントローラー (7) を押すことで針をセットすることが可能です。

Continued timing

クロノグラフを止めたのが1度目の場合、再度クロノグラフレバー(6)を押すことでクロノグラフを再開させることが可能です。それぞれ図った時間は合算され、積算計として利用できます。クロノグラフを使用している間も、時計は通常通り動作し続けます。

Pulsometer scale

脈拍計は、時計を使用して1分間の間に心臓が拍動する数を測定するための機能です。

元は、医者や看護師が、患者の脈拍を可能な限り早く測定することができるよう搭載された機能です。.

脈拍は、最大45秒間の間クロノグラフ秒針とそれに対応する脈拍計の情報から読み取ることが可能です。

グラハムでは：脈拍計は30回の脈動を基本設定としています。

クロノグラフレバー(6)をスタートさせてから脈動を30回数えたら、

クロノグラフレバー(6)をストップします。

ストップした後、脈拍計の上にあるクロノグラフ秒針(3)の位置を読みます。

その数値が、1分間の心臓の拍動、脈拍を表します。